

第 25 回日本環境動物昆虫学会セミナーのお知らせ

これからの 駆除処理・殺虫剤の動向 VII

ーノンケミカルから抵抗性問題までー

「フェロモンの使い方を考える 1」

日時：2018年9月7日（金） 13：00～17：00

場所：大阪府立大学 I-site なんば C2（大阪市浪速区敷津東 2-8-1）

主催：日本環境動物昆虫学会

＜企画委員 中嶋智子（企画委員長）、清水伸泰（幹事）、大村和香子、木村悟朗、
篠田一孝、引土知幸、平井規央、宮下智行＞

参加費：

会員 2,500 円（個人会員・法人会員「維持会員・賛助会員」

学生 1,000 円・非会員 3,500 円（参加費には、テキスト代・消費税含む）

<趣 旨>

本会は「人間の生活環境を清潔、快適ならしめるため、昆虫及び動物の学術的・総合研究の発展ならびに被害防止技術の向上を促進すること」を目的とし、昭和 63 年（1988 年）11 月に設立、発足いたしました。環動昆セミナーでは、2012 年から「これからの駆除処理・殺虫剤の動向・ノンケミカルから抵抗性問題まで」という大きなテーマで実施しており、今回で 7 回目を迎えました。これには、社会的生活を営んでいる以上、人間にとって排除すべき害虫はやはり存在し、学会として、その防除・駆除についてのあるべき方向を発信していきたいという意図がございます。第 25 回セミナーから 2 回連続の予定で、「フェロモン」を取り上げようと考えております。現在では、害虫類のモニタリングや防除に広く使われている「フェロモン」ですが、まず、その使い方についての基礎と防除現場での応用について、講師の皆さんに、新しい話題も含め、お話をいただきます。会員・非会員の区別なく、万障繰り合わせのうえご参加くださるようお願いいたします。また、次回は、フェロモンを用いたモニタリングについての現状や課題を考えていく予定としております。

特集：フェロモンの使い方を考える 1 13:00～17:00

コーディネータ 西部化成（株） 篠田 一孝

（講演タイトルはいずれも仮題）

1. 合成性フェロモン交信攪乱剤の開発

～シロイチモジヨトウとケブカアカチャコガネ～ (13:10～14:00)

京都学園大学バイオ環境学部 若村 定男

2. 微小な衛生・不快害虫のフェロモン研究からわかってきたこと (14:00～14:50)

京都学園大学バイオ環境学部 清水 伸泰

～休憩～

3. フェロモン研究の森林害虫対策への応用

～クビアカツヤカミキリ防除への試み～ (15:05～15:55)

国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所 森林昆虫研究領域 所 雅彦

4. 新規薬剤の話題：ノシメダラメイガ交信かく乱剤パナモスコン

(15:55～16:45)

国際衛生株式会社 技術研究所 宮武和史

5. 総合討論 (16:45～17:00)

＜ 参 加 要 領 ＞

＜参加申込＞ ファックス・郵便又はEメールでお申込み下さい。定員になり次第締切ります。

＜申込み先及び問合せ先＞ 日本環境動物昆虫学会事務局

〒550-0005 大阪市西区西本町1-11-1 (本町セントラルハイツ 407)

TEL・FAX 06 (6535) 4684 e-mail r.takagi@f2.dion.ne.jp

＜参加費振込先＞三菱UFJ銀行信濃橋支店 日本環境動物昆虫学会 普通 3508064

…………… キ …… リ …… ト …… リ …… セ …… ン ……………

「第24回日本環境動物昆虫学会セミナー」 参加申込書

1. _____ 会員・非会員・学生. 2. _____ 会員・非会員・学生

住所（勤務先・大学・自宅）〒 _____

TEL _____ FAX _____ e-メールアドレス _____

所属（会社名・部署／大学名・学部） _____

上記の通り参加申し込みます。→ 参加費は 月 日付けで、銀行振り込みします。

2018年 月 日 書類送付者 _____

本状で得た情報は、次回のセミナーのご案内以外には使用いたしません